

子どもとのかかわり方を学ぶ I

片岡 真智子（野田市）

日 時：2017年10月25日（水）10～13時

場 所：横戸小学校 体育館 研修室

参加者：56名（子ども46名 教員・保護者10名） 指導員11名 会員外1名

担当指導員：内島くに子 小川洋子 落合啓子 松尾千鶴子 山田益弘

学習は1年生・2年生合同で46名が5つの班に分かれて、体育館の中に設けられた5カ所のコーナーを順番に体験していく方法で進められました。

コーナーの内容は

1. シイナのどんぐり渡し

クリのシイナと爪楊枝でスプーンを作り、どんぐりのスプーンリレーです。二組に分かれ、1回戦と2回戦でどんぐりの種類を変えたり、3回戦は利き腕ではない方の手を使ったり、と工夫が凝らされていました。

2. オナモミのダーツ

2組に分かれて台にくっついたオナモミの数を競い合うゲームです。真剣でした。

3. パチンコゲーム

パチンコ台は手作り、玉はシラカシのどんぐりです。各自5個の玉で、紅白に分かれて得点を競い合います。

4. 車づくり

車体は好きな絵を描いたダンボール、車輪はクヌギのどんぐりです。完成したらスロープで走り比べ。みんな楽しそうでした。

5. 落ち葉の写し絵

好きな葉っぱを選んで、色を付けてカードに写す。芸術的な作品が勢揃いしました。チームで力を合わせるゲームや、持ち帰れる作品作りがあり、プログラムの組み立てがよく、「楽しく自然に楽しむ」というねらい通りだと感じました。

2年生は前年に経験したことが多く、1年生の手助けをする様子が見られました。前年のことを覚えていてくれるのはうれしいことです。

観察会終了後、横戸小担当の指導員さん達で作った、超大型の「食物連鎖の図」を披露していただきました。工夫が満載で、参加者だけで見るのは申し訳なような作品です。



落ち葉の写し絵作品



落ち葉の写し絵のコーナー



超大型「食物連鎖の図」